



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

コード番号 4739

URL <http://www.ctc-g.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥田 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 矢板 邦彦

TEL 03(6203)5000

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	192,792	△2.3	9,111	△9.7	9,264	△7.8	4,384	△19.5
22年3月期第3四半期	197,368	△2.4	10,089	58.0	10,044	46.8	5,448	62.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	68 71	—
22年3月期第3四半期	85 09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	218,156	148,737	68.0	2,378 01
22年3月期	233,230	155,118	66.3	2,415 65

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 148,286百万円 22年3月期 154,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	40 00	—	45 00	85 00
23年3月期	—	45 00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	45 00	90 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	287,000	△1.2	21,000	△2.6	21,200	△2.0	11,300	△9.3	178 08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	64,500,000株	22年3月期	64,500,000株
23年3月期3Q	2,142,679株	22年3月期	470,399株
23年3月期3Q	63,814,793株	22年3月期3Q	64,029,773株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成22年4月30日に公表いたしました連結業績予想を本資料において修正しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し、個人消費および設備投資において持ち直しの動きが見られる一方で、輸出および生産が減少傾向となるなど、景気は足踏み状態にあり、依然として先行きに不透明感の残る状況となりました。情報サービス産業におきましては、受注環境改善の兆しは見られるものの、企業収益や需要の回復に対する先行き懸念を背景に、企業のシステム投資に対する慎重な姿勢は依然として強く、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、今期注力するビジネステーマとして掲げているクラウドコンピューティングビジネス分野において、独自のプライベートクラウドソリューションや、パブリッククラウドサービスを拡充してまいりました。さらには、これらクラウドソリューションを集約し、新ブランド「cloudage（クラウドージ）」を立上げることで、クラウドサービスの体系的な展開強化を図りました。同時にクラウドコンピューティング技術に精通した人材の育成も積極的に推進してまいりました。また、新エネルギー・環境分野においては、低炭素社会実現に向けた共同実証プロジェクト参画や、電力会社向けに風力発電出力予測サービスを開始するなど、中長期成長分野への取り組みにも注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、製品ビジネスが前年同期水準を上回るものの、開発およびサービスビジネスが減少し、192,792百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面では、外部人件費の抑制と継続的な経費削減による販売費及び一般管理費の削減があったものの、減収に伴う利益減に加え、開発不採算案件が増加したことにより、営業利益は9,111百万円（同9.7%減）、経常利益は9,264百万円（同7.8%減）、四半期純利益は4,384百万円（同19.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて15,073百万円減少し、218,156百万円となりました。これは、主にたな卸資産の増加が8,693百万円あったものの、現金及び預金の減少が10,733百万円、受取手形及び売掛金の減少が16,423百万円あったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて8,692百万円減少し、69,418百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少が7,292百万円、未払法人税等の減少が6,281百万円あったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6,380百万円減少し、148,737百万円となりました。これは、主に四半期純利益による増加が4,384百万円あったものの、配当金の支払いによる減少が5,762百万円、自己株式の取得による減少が5,000百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、海外経済の改善などを背景に景気を持ち直しや企業収益の改善などが期待されるものの、為替変動リスクや景気下ブレ懸念が払拭されておらず、依然として企業は慎重な投資姿勢が継続しております。その結果、競争は益々激化しており、当社グループを取り巻くビジネス環境は厳しい状況が続くものと思われれます。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が減収減益となったことを勘案し、本日（平成23年2月2日）「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおり、通期の連結業績予想について変更しております。当該資料についても合わせてご参照ください。

なお、本日修正した通期の連結業績予想と、平成22年4月30日に公表した前回予想数値との差異は以下のとおりであります。

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	300,000	22,500	22,500	12,500	197.34
今回発表予想 (B)	287,000	21,000	21,200	11,300	178.08
増減額 (B-A)	△13,000	△1,500	△1,300	△1,200	—
増減率 (%)	△4.3	△6.7	△5.8	△9.6	—
(ご参考) 前期実績 平成22年3月期	290,391	21,569	21,627	12,461	194.62

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ59百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は738百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,258百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,229	35,963
受取手形及び売掛金	41,956	58,379
有価証券	33,997	37,996
商品	13,013	8,176
仕掛品	7,725	5,065
保守用部材	7,452	6,255
前払費用	16,977	12,654
その他	16,960	17,145
貸倒引当金	△1	△10
流動資産合計	163,310	181,627
固定資産		
有形固定資産	30,974	29,742
無形固定資産	8,104	5,960
投資その他の資産		
その他	15,837	15,968
貸倒引当金	△70	△68
投資その他の資産合計	15,767	15,900
固定資産合計	54,846	51,602
資産合計	218,156	233,230
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,739	25,032
未払法人税等	900	7,182
前受収益	18,181	15,685
賞与引当金	3,239	6,012
受注損失引当金	411	35
アフターコスト引当金	293	499
その他	18,084	15,183
流動負債合計	58,852	69,631
固定負債		
退職給付引当金	399	298
資産除去債務	1,190	—
その他	8,976	8,182
固定負債合計	10,566	8,480
負債合計	69,418	78,111

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,763	21,763
資本剰余金	33,076	33,076
利益剰余金	99,661	101,040
自己株式	△6,387	△1,386
株主資本合計	148,113	154,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	253	235
繰延ヘッジ損益	△21	4
為替換算調整勘定	△60	△60
評価・換算差額等合計	172	180
少数株主持分	451	445
純資産合計	148,737	155,118
負債純資産合計	218,156	233,230

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	197,368	192,792
売上原価	145,489	143,136
売上総利益	51,878	49,655
販売費及び一般管理費	41,789	40,544
営業利益	10,089	9,111
営業外収益		
受取利息	86	54
受取配当金	47	44
持分法による投資利益	—	57
その他	220	221
営業外収益合計	354	377
営業外費用		
支払利息	153	143
持分法による投資損失	24	—
投資事業組合運用損	172	65
その他	48	14
営業外費用合計	399	223
経常利益	10,044	9,264
特別利益		
投資有価証券売却益	169	296
特別利益合計	169	296
特別損失		
固定資産除却損	175	84
減損損失	23	14
投資有価証券評価損	29	372
会員権評価損	23	13
損害賠償金	165	152
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	679
特別損失合計	417	1,317
税金等調整前四半期純利益	9,796	8,244
法人税、住民税及び事業税	3,342	2,726
法人税等調整額	935	1,032
法人税等合計	4,277	3,759
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,484
少数株主利益	70	100
四半期純利益	5,448	4,384

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高(百万円)	21,763	33,076	101,040	△1,386	154,492
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△5,762		△5,762
四半期純利益			4,384		4,384
自己株式の取得				△5,000	△5,000
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計(百万円)	—	—	△1,378	△5,000	△6,378
当第3四半期連結会計期間末残高(百万円)	21,763	33,076	99,661	△6,387	148,113